

箱根組ニュース

第332号 2020年10月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

三頭山の三つの山頂、東峰、中央峰、西峰をめぐる。中央峰で浮田さんに黙祷する。

9月20日(日)、JR新宿駅発6時46分のホリデー快速あきがわ1号武蔵五日市行きに乗車。武蔵五日市駅に7時55分着。

降り立ったのは、佐藤夫妻、川名夫人、宗像夫人、及川、奥村、和田、神山、戸丸の9名、と言いたところだが、残念ながら宗像夫人が遅れて、「あとのバスで追いつきます」ということになった。というところで8名での出発となった。次のバスは50分後。

バス停に並び荷物を置いて交番の横のトイレを使用。

8時10分発の急行都民の森行きのバスに乗車。最近はこの路線を使うことが多くなっているのがおなじみだ。

天気予報は少し雨マークが出ている。

9時18分、終点都民の森に到着。ぽつぽつと雨が落ちているので、トイレの入りに付近で念のため雨合羽を上下着で準備万端。雨はそれほどでもないのので準備運動は外でできた。

9時40分、出発。まずは韮口峠を目指す。舗装道路の右側に遊歩道を発見し

たので歩きやすいこちらから入ってゆく。森林館・韮口峠と案内板がある。左側の舗装路との間には小川も流れていい雰囲気だ。

9時47分、滑りやすそうな丸木を組み合わせた橋を渡ると舗装路に出る。少し傾斜の付いた道を登ってゆく。

9時50分、トンネルに入ってゆく。トンネルの頭上は森林館だ。トンネルをくぐると三頭大滝方面落石で通行止めの大きな看板が出ている。らくだコースで行こうと思っていたので情報がありがたい。

右に回り込むように登ってゆく。その右側には木材工芸センターがある。

10時、道は山道になる。石の階段の段差が大きくなってくる。

10時6分、左側に休憩所。二階部分の屋根は展望台になっているが、あいにくの天気で展望は無し。小さな屋根の下で雨をよけて？休憩。再出発。

10時18分、割とあっけなく韮口峠着。標高は1,142m。尾根を右に行けば月夜見山を経て同じ奥多摩三山の



一つの御前山につながる。

我々は左に登って三頭山に向かう。三頭山、ブナの路と標識にある。傾斜がきつくなってくる。しばらくすると雨が強くなり尾根のせいか風も強くなってきた。ブナ林の緑は雨に洗われて美しい。大きなキノコやガマガエルも出てくる。ガスも出てきて尾根は白い世界になってくる。

10時30分頃、風雨はしだいにおさまってくる。

11時3分、ブナの路は左に別れ、我々は登山道と書いてある右の道を進む。雨上がりはいっそう緑が美しい。ルートは尾根を右から巻くように道が付いている。

11時9分、再びブナの路と合流する。

木の根や階段状の登山道が続く。

11時16分、標高1400m地点を通

過。その先は大きな石がごろごろしている

上り坂が続く。赤い実がたく

さんついた木

があった。ガマズミと思っていたが後でよく調べたらオカメノキだった。赤い実を口に含むと酸味があるがなかなか美味しい。ビタミン補給になる。

11時52分、標高1500m地点。分岐を右に上るとすぐに展望台、見える山は

御前山が左手前に、その右に大岳山の様だ。三頭山から他の奥多摩三山の二つが見えるのだ。奥多摩三山を抱えているような気持になる。

11時58分、東峰1527.5mに到着。すぐ先に最高峰の中央峰があるような

ので進む。

12時5分、最高点の中央峰1531mに到着。浮田さ

んに黙祷を捧げる。そして浮田さんのお好きだったアサヒビールと伊東の宿の前の集合写真とで記念撮影。

さてメインの西峰に向かうと下り始めると後ろから気配がする。宗像夫人が追

い付いてきてみんなびつくりする。1時間ほど遅れてい

10月18日(日) 丹波山村ハイキング。

らくだコース 歩行時間 約2時間

※電車バス内、混雑時はマスクを使用しましょう。

奥多摩駅から丹波行きバスで丹波役場前で下車。ローラー滑り台で遊んで、道の駅の河原で昼食。

※何か汁物を作ります。(食器、箸、持参)

○持ち物 お弁当、飲料水、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、非常食、食器、箸、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 10月16日(金) までに

集合10月18日(日) JR新宿駅(11番線)

6:46発 ホリデー快速おくたま1号

奥多摩行き(最後尾1号車車内)

※武蔵五日市行き車両に乗らないこと

途中駅発

中野6:50 三鷹6:59 国分寺7:06

立川7:15 西立川7:19 拝島7:32

奥多摩 8:21着(バス乗換)

8:35発 丹波行 丹波役場前9:23着

交通費 新宿～奥多摩 往復2200円

奥多摩～丹波役場前 往復2060円

シルバーパスの方 山梨エリア片道620円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯090-4541-7066

携帯メール:satorutomaru@gmail.com

メール:tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

たのに追いついたのだ。その根性に脱帽！

12時16分、十字路。右はヌカザス尾根經由で奥多摩湖、左は三頭山避難小屋方面だ。真つすぐ山頂を目指す。

12時20分、三頭山メインの西峰（1524.5m）に到着。

富士山は全く見えないと思っていたら、頂上は隠れていたが雲の間にその姿を見せてくれた。先ほどまでは雨だったのに何という幸運だろう。



まず記念撮影をする、そして昼食。少し散らばって場所を確保する。少しのビールで浮田さんを偲ぶ。後はいつも通りに持ち寄りの美味しいお惣菜で豪華なお昼だ。宗像さんの卵焼きも間に合った。

午後1時半、下山開始。方角は南、ムシカリ峠から牧寄山を目指す。地図上2時間半のコースだ。目標時間は4時半。

標識は右は鶴峠、左は登ってきた鞍口峠、奥多摩湖方面。真つすぐ進む。

1時48分、左三頭大滝方面の道と別れる。

1時51分、三頭山避難小屋。標高は1433m、丸太を組んだ立派なログハウスだ。中をのぞくと数人が休憩中だった。少し登ってゆくと大沢山の標識。1482m、1時59分着。

また下ってゆく。紫のトリカブトが美しい、猛毒とは思えない美しさ。

2時11分、日が差してきた。木漏れ日が美しい。

2時21分、標高1400m。

2時25分、左三頭大滝の標識。ここまでが都民の森とある。大きな岩を乗り越える。

3時18分、右に上野原方面の標識だが地図には載っていない。また上りになる。

3時40分、牧寄山1188.2m。

3時48分、西原峠。左方面で仲の平

バス停方面へ向かう。

4時29分、左方向、九頭竜神社、数馬バス停とあるが右方向へ進む。長い下りに体が悲鳴を上げてくる。

5時5分、森を抜けて集落の気配がしてくる。5時10分、集落に出る。立派な観音堂を右に見ながらつまずき下りの坂を下りて行く。

先頭を代わり、一足先にバス停に時刻表を見に行くと。5時31分発とわかる。

5時26分、全員が到着する。目標時間は越えたが無事に全員歩くことができた。予定していたバスに乗って武蔵五日市駅へ。

駅前解散。数人は駅のコンビニで例のごとく生ビールを買って、ホームでミニ打ち上げをする。生ビールがここのほか美味しかった。

※新型コロナウイルス対応

●マスクの使用について
電車、バス、タクシーの車内、また混雑している所ではマスクを付けましょう。

●消毒用アルコール等も利用して安全を確保しましょう。

山を歩いているときはお互いの距離を開けて歩きましょう。

昼食時あまり密集しないように気を付けましょう。

9

